

風とおしの良い夢のあるまちづくり

ながら俊一

通心

平群町議会議員 vol.13
ながら俊一事務所
〒636-0925
奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
TEL・FAX 0745-45-3955



ごあいさつ

平素は、町議会に対しましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
令和4年第2回平群町議会臨時会が、5月9日、第3回定例会が、6月7日から6月17日、第4回臨時会が、7月11日に開催されました。
令和4年度の予算執行が始まりましたが、数年にわたるウィルスの猛威は、衰えることなく誰が発症してもおかしくない状況が続いています。春からの議案案件には、前年度から継続されているコロナ対応地方創生臨時交付金事業など、暮らしに見合った議案案件が中心です。
令和の時代に入り、平群町にお住いの方々に少しでも満足して頂けるように努力し、『新しい生活様式』など、環境の変化に対応し、『町民の皆さまに、安心・安全なまちづくり』を心掛け、努めて参ります。
また、6月議会において、町民の皆さまからのお声を元に、平群町における学校の環境づくりについて、コロナ禍の状況で、平群町独自の包括支援について、平群町での農商工業者支援について、平群町の未来像についての4点を質問させて頂きました。平群町議会で審議された議案をご報告させていただきます。

令和4年 第2回 5月 平群町議会臨時会

第2回（5月臨時会）	
報告案件 (1件 報告第2号)	議会の委任による専決処分の報告について
承認案件 (3件 承認第3号～5号)	専決処分の承認を求めることについてなど
議案案件 (3件 議案第31号～33号)	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてなど
常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任について	
追加日程 駅周事業について同意案件	

(※明細は議会だよりを参照してください)

報告案件については、福貴畑で起きた物損事故の件です。
承認第3号は、平群町税条例の一部を改正する条例です。固定資産税の軽減措置です。
承認第4号は、令和4年度における介護保険料の減免措置の特例に係る規定整備です。
承認第5号は、年度内執行が見込めない事業について、繰越明許費の追加及び変更です。
事業内容は新型コロナワクチン接種事業や感染症対策備品購入業務などです。
議案第31号は、国民健康保険税率の改正を行う為の改正です。少し、下がります。
議案第32号は、新型コロナウィルス感染症対策支援に係る臨時交付金の予算措置です。
補正額 128,194千円

- ①新型コロナ対応地方創生臨時交付金事業 84,790千円
 - 1. 事業者等への継続支援 26,550千円
 - 2. 暮らしを守る生活支援 42,634千円
 - 3. 新しい生活様式への環境整備 15,606千円
 - ②コロナワクチン接種(4回目)事業 43,404千円
- 議案第33号は、学校給食費無償化事業です。

常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任について

(平群町議会役員名簿)

令和4年 第3回 6月 平群町議会定例会

第3回（6月定例会）	
議案案件 (4件 議案第34号～37号)	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてなど
同意案件 (同意2号)	公平委員会委員の選任に同意を求めることについて

(※明細は議会だよりを参照してください)

議案第34号は、財政健全化を目的として一般職の職員の給与カットを行うための改正です。(4%削減です)
議案第35号は、平群町と三郷町が所有する公共施設の相互利用を促進するための改正です。
議案第36号は、指定管理者制度を導入するにあたり、平群町斎場設置及び管理に関する条例の一部を改正するものです。
議案第37号は、令和4年度一般会計補正予算(第2号)です。
これは、低所得の子育て世代に対する子育て世代生活支援特別給付金事業です。
同意案件については、任期満了による更新です。

一般質問

6月議会、私が一般質問しました、内容を、ご報告いたします。

1. 平群町における学校の環境づくりについて

質問要旨

6月に入り、新しい学級にも慣れ、教育現場を束ねる先生方も指針をもって教鞭をふるっていただいていると感じています。
また、近年のコロナ禍の状況で、勉強以外の様々な課題をこなし、子供たちを導き、指導して頂いて下さることに、感謝申し上げます。
昨今の子供たちの教育環境は、GIGAスクール構想、ICT教育と凄まじいスピードで変化し、考えながら学ぶという時代に入り、私の幼少の頃と大きく変わり、社会のトレンドも世界中からリアルタイムで知る時代になりました。教育委員会も子供をお預かりする立場から、事故などが起きないように細心の注意を図りながらの指針をお示しして頂いていると考えますが、平群町の小・中学校の管理、運営も本町の現場環境に準じた施策が、子ども達、先生方に必要と考えます。以上の観点から質問させていただきます。
1. 教員の働き方改革や技術指導
2. 中学校の運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

私の質問の趣旨は、平群町で教育を受ける事で、子供たちが生き生きと暮らし、笑顔溢れる日常を続けていく事で、子育て世帯を呼び込む一手となると考えるからです。他の市町村と同様では、残念ながら注目されにくいと思わざるを得ません。現状と今後の施策をお答えください。

答 弁 (教育委員会総務課)

長良議員のご質問の1項目、「平群町における学校の環境づくりについて」お答えします。

1点目の「教員の働き方改革や技術指導」についてのお尋ねですが、まず、教員の働き方改革についてですが、この件に関しては、これまでも議員より様々な角度からご質問を頂いており、その都度、教育委員会では、学校現場の把握や教員の働き方改革の貴重なご意見として参考とさせて頂いています。

まず、先生方が、授業や学習指導、授業カリキュラム、学校行事や、部活動指導、授業参観、保護者面談など、多岐に渡る年間予定のもと、日々の業務に追われ、勤務時間や気持ち(心)にゆとりや余裕がないのではとのご心配、課題となっているのではないかと。

また、ICT教育など時代の変化に応じた新しい教育への対応など、先生方の授業や学習指導に関する技術指導(スキル)の質や内容の向上が求められており、課題となっているのではとのごことです。

本年度も「笑顔でつながる平群の学び」をスローガンに、学校教育の方針を策定しており、ICT教育、SDGs、外国語教育、保育業務のICT化などの多岐に渡る教育の目標を掲げ、子ども達が確かな学力を身に着け、発達段階に応じた健やかな成長につながるよう、教育委員会、学校、園が連携して取り組んでいます。

教員の働き方改革の面では、校務支援システムの導入運用、ICT教育環境を活用した効果的、効率的な授業の実践、会議時間の短縮、学校休業日を設けるなど、勤務時間、校務負担の縮減などにより、教員がゆとりや余裕をもって、業務に取り組めるよう取り組んでいます。

教育の質の面では、町教育委員会では、教員対象にしたスキルアップ研修として、ICT教育や学力向上など、その都度の課題、ニーズに応じた研修を開催し、県教育委員会が開催する研修等への積極的な参加も促しています。

2点目の「中学校の運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」についてのお尋ねですが、国は、学校の部活動を段階的な地域移行の方針を示しています。

先般(6月6日)に、国のスポーツ庁に対し、この地域移行の課題についての提言書が提出されたとの報道がありました。

教育委員会としても、この部活動の地域移行については、大きな課題であると認識しており、国や県の方針等に基づき進めていくこととしており、本年度、部活動の在り方などについて、関係機関との協議などを行うことを予定しています。

教育委員会としても、様々な教育の課題について、学校、園、関係機関と連携し、子どもたちの学び、成長ため、また教育を支える教員や地域のため、前向きにチャレンジ精神をもって取り組んでまいります。

2. コロナ禍の状況で、平群町独自の包括支援について

質問要旨

本町は、近隣市町村と比べ、高齢化率が高く、子育て世代人口が少ないことが問題視されています。時勢柄、Withコロナを基調に住みやすさ、やさしさをアピールする良い機会と考えます。本町の実情をお聞かせください。

- 1. 健康づくりと地域の医療・介護体制
- 2. 地域が支える子育て・福祉環境づくり
- 3. 高齢者福祉サービスの充実

答 弁 (福祉こども課)

長良議員のご質問の大きく2項目の、「コロナ禍の状況で、平群町独自の包括支援について」についてお答えいたします。

1点目の「①健康づくりと地域の医療・介護体制」については、健康寿命延伸に向けた取り組みとして保健・医療・介護の視点からフレイル予防の一体的な取り組みを行っており、関係課や地域包括支援センターと連携し、包括的な支援を行っております。

また、重症化予防を目的とした個別的支援や集団的支援を組み合わせることで行っております。

2点目の「②地域が支える子育て・福祉環境づくり」について、『互いに支え合いながら安心して子育てできるまち』を基本方針として、「へぐりのびのび子育てプラン」の計画を推進しております。

今年4月には、こども家庭総合支援拠点を設置し、要保護児童等への支援について関係機関が連携し、支援の強化を図っています。

また、子育て世代へは、高校卒業まで医療費の無償化を行う町独自の支援を行っております。

3点目の「③高齢者福祉サービスの充実について」は、介護だけではなく、医療や介護予防、生活支援などを一体的に提供する地域包括ケアシステムを推進しております。外出支援の「デマンド型乗合タクシー」、緊急時の連絡手段の「緊急通報サービス事業」、地域での「安心見守り事業」などの高齢福祉サービスを行っております。

3. 平群町での農商工業者支援について

質問要旨

近年のコロナ禍の状況で、平群町で行われている農業、商工業産業は、大きなダメージを受けています。原油価格の上昇により、冬期に必要な加温は、ハウス温室で生産している農業従事者の負担経費になります。給付金などの一時金もありますが、経営基盤の衰弱に繋がります。本町の農・商工業の経営基盤強化に対する支援について、お聞かせください。

答 弁 (都市建設課)

長良議員ご質問の3項目、「平群町での商工業者支援」についてお答え致します。原油価格の高騰に伴い、多くの事業者がその影響を受けています。そのようななか、地方公共団体が、コロナ禍において原油価格や電気・ガス料金を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担の軽減を地域の実情に応じ、きめ細やかに実施できるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充し、「コロナ禍における原油価格・物価高騰分」が創設されました。

町内でも多くの農業者が影響を受けています。特にビニールハウス、ガラスハウス等の農業用施設の加温設備を使用して経営する施設園芸農家は、経費に占める燃料費の割合が非常に高く、特に影響を受けやすいと考えております。

拡充されたこれら交付金を活用し、農業従事者の経営支援の観点から平群町独自の支援策を検討してまいります。

また、商工業者に対しては、中小企業者等事業継続支援金として、個人事業者に5万円、法人に10万円を交付しており、令和2年度では個人126件、法人76件、合わせて202件で13,900千円の支給金を給付してまいりました。

令和4年度においても、同様の支援として、原油価格高騰などにより、家賃などの固定費や運転資金など事業の継続に幅広く活用できる支援金を町独自で給付しており、幅広い事業者支援に努めています。

4. 平群町の未来像について

質問要旨

本町は、令和4度からまち未来推進室を新たに発足しました。
 先日、バラ園の作業中に平群町の住民の方と少しお話をさせて頂きました。初老の方で野生の鳥の写真を撮るために三脚を肩に担ぎ、望遠レンズで覗き、オリジナルの視点から趣味として撮影されているとの事です。平群に居を構え、長い年月になると教えていただきました。色々な話の中で良い町だと思うが、道路状態が悪く、歩きにくくなったともお話しされました。
 まち未来推進室は、平群の明日を考える集団と考えます。コロナ禍の状況で、様々な課題を克服し、首都圏の自治体を対象とした「町の幸福度(自治体)ランキング2021」で埼玉県比企郡鳩山町が、1位に選ばれました。関西圏では、兵庫県明石市のように、人口を増やしている自治体もあります。各担当課においては、それぞれの事業を展開し、進めていることは、理解できますが、集約し、点と点を結び線になっていないように感じてなりません。魅力ある平群町になるための施策をお聞かせください。

答 弁 (まち未来推進室)

本年4月に、若年層の定住促進や雇用の創出、人口対策につながる施策等を講じ、魅力ある平群町を創出することを目的として、まち未来推進室を設置いたしました。
 現在、第6次総合計画の策定に向けた検討委員会等を開催し、これまで実施した調査結果や会議での意見を集約し、各分野における既存事業の現状と課題整理を行いながら、今後の取り組むべき内容等について検討しているところです。
 今後、第6次総合計画の策定を柱として、職員間での情報共有や横断的連携を図りながら、施策の推進に取り組んで参りたいと考えています。
 また、人口対策や地域振興に繋がることについては、まち未来推進室が主となって企画立案を行い、関係各課と連携を図りながら積極的に施策を推進し、様々な取り組みを通じて、魅力あるまちづくりと町の活性化に繋げて参りたいと考えています。

令和4年 第4回 7月 平群町議会臨時会

第4回(7月臨時会)

報告案件 (1件 報告第3号)	議会の委任による専決処分の報告についてなど
議案案件 (1件 議案第38号)	令和4年度平群町一般会計補正予算(第3号)について

(※明細は議会だよりを参照してください)

報告第3号は、公用車の接触事故での損害賠償についてです。
 議案第38号は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(原油価格・物価高騰対策等)のための補正予算です。約7,600万円です。
 実施する事業
 ① 生活応援クーポンの発行「クーポン券の額面は、4,000円」
 ② 農家者に対する原油高騰支援
 ③ こども園食費の無償化
 ④ 学校給食・こども園給食の高騰対策などです。

終わりに

令和4年も、半年が過ぎようとしています。子供たちの夏季休暇も始まり、夏本番を迎えましたが、コロナウイルスの猛威は、収まるどころか新しい波を感じさせる日々が続いています。平群町行政も、4回目の集団・個別ワクチン接種が始まり、少しでも早く『不安の払拭・安心・安全な生活』を取り戻す為、勤しんでいます。これからも、『新しい生活様式』にも取り組み、多様化の時代を平群町で生活することで、満足して頂けるように提案し、引き続き、本町の財政基盤が、好転する為の施策を進言し、平群町でお住まいの人々が、安心・安全、安住の地と感じていただけるように勤めてまいります。
 これから先もコロナ禍の中での生活が続くと考えますが、議員活動を通じて、皆さまに喜んで頂けるように邁進してまいります。
 これからも、よろしく願いいたします。

皆様の声を、ぜひ、
ながら俊一にお聞かせください！



ながら俊一事務所

〒636-0925
 奈良県生駒郡平群町越木塚 623-3
 TEL・FAX 0745-45-3955
<https://nagara-shunichi.com/>

